

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	4	うるおい・雄武	整理番号	55
基本施策	15	環境の保全	評価 責任者	住民生活課長 渡邊孝司
単位施策	2	地球環境保全対策の推進		

1 施策の概要

基本方針	地球環境保全意識を啓発するとともに、公共部門が率先してクール・ウォームビズやグリーン購入など具体的な行動を実践し、まちぐるみの取り組みにつなげる。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	公用車のエコカー化や事務用品の再生品購入、全職員を対象にクールビズを実施するとともに、町民植樹祭など環境緑化に取り組み、足元からの行動を行った。	普段の生活の中で気軽に実践できる環境対策について、行政が率先して行動し、住民の環境意識高揚を図った。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	環境保全など意識的には全ての町民が持っているが、町ぐるみで取り組めるような、具体的な施策が求められる。	小さな行動の積み重ねが、地球規模の環境保全に繋がることを再認識し、まちぐるみでの環境保全運動に広げていくことが求められている。

2 基本施策指標

指標1	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標2	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	【再掲】みどりと親しむ町民のつどい	林務係	1,326	A	継続/現状維持	A
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	地球環境について、行政が率先し足元から行動することで、住民に対する意識の高揚を図ることができる。
② 有効性	A	クールビズや事務用品の再利用、再生品購入など行政が率先して行動し、また町民植樹運動等により、地球環境保全に対し広く住民に意義の浸透が図られる。
③ 効率性	A	事務用品の再利用・再生品の購入など、新たに財政負担を生じることがないように、効率的な施策の展開を図った。
④ 公平性	A	地球環境の保全について、個々が生活を営む地域保全の集合体が構成するものであり、全ての住民が対象である。
⑤ 町民意見の反映	B	町民の意見を聞く場は設けていないが、環境保全に対する意見に対しては改善措置を講じている。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
町民植樹運動等、足元からの行動をはじめ、行政が率先してクールビズ（軽装）やグリーン購入に取り組んでおり、全町的な取り組みに発展しつつある。	同左	

今後の方向性	今後の方向性	今後の方向性
継続/拡充	継続/拡充	
行政の取り組みについては、今後も継続することとし、全ての町民が気軽に取り組める活動の啓蒙に努め、活動の輪を広めていく必要がある。	同左	
*今後の方向性の区分 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		